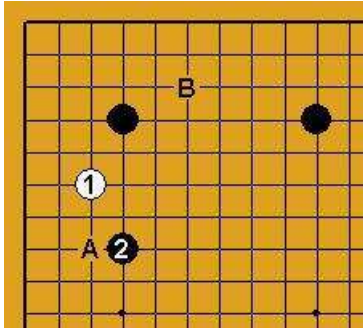
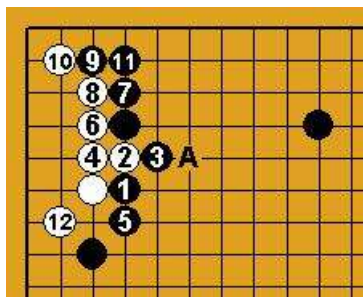


星に小ケイマガカリ 一間高バサミ 1



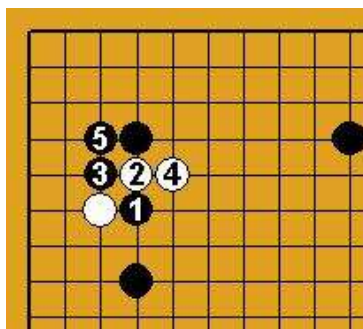
テーマ図

マイナー定石なのですが有力です。テーマ図のように辺に黒石があるような場合には特に有力です。このように周囲の状況によって定石を選択するというのは非常に大切なことで、逆に辺に白石がある場合には①カカリに対してはハサまずに B と小ゲイマにうけることになります。さてハサムにしても通常は A の低い一ケンバサミです。そこを敢えて高く②とはさむ理由は何か？ 趣向とか気分とかは別にして、現実には大きな理由が一つあります。「手抜きをさせない」ということです。低いハサミの場合には、白に他に大場や急場があつて「シチョウがよい」という条件があれば手抜きされることがあります。



参考図 1

がそのあと予想される進行です。シチョウというのは③で④と下からキッて⑥とツイだときのこと、
⑤とカカエるシチョウが悪いと白いけません。



参考図 2

この（参考図 1）は A のハサミツケがあって白も打
てるのです。一方高いハサミの場合は（参考図 2）
ですが、シチョウに関係がないので③と下からキッ
てこのあとどう打っても黒がよいのです。従って白
は手抜きできず、すぐ動いて打つことになります。